

伊万里

Imari

広報 **12** NO. 562
2000
(平成12年)



気分はすっかり映画監督! (ほくらワクワク映画探検団 11月19日)

色絵鶴鶴文変形皿

鍋島 1660年代
高さ 3.5 口径12.4~17.5 底径 6.2~9.2cm



今月の主な内容	特集	人が動き まちに 一陣の風が吹く ……2
		パブリックインフォメーション ……10
		楠ちゃんレポート ……12
		教育と文化 ……13
		みんなの広場 ……14
		市民体育祭 ……16
		ほがらかページ ……18
		ほくの学校わたしの学校…19
		スポーツ ……20
		くらしのチャンネル ……22
		お便り ……24

人が動き まちに一陣の風が吹く

歴史と文化に彩られたまち「伊万里」。
かつては、焼き物の積み出し港として
栄え、日本国内はもとより、遠くはヨー
ロッパまでその名をはせた。「イマリ」
という名称は、今でも焼き物の代名詞と
して世界に響き渡っている。

また、積み出し港として栄えた時代は、
焼き物商人がまちをかつ歩し、軒を並べ
る家々からは、その商人たちをもてなす
三味線、長唄が絶えまなく響いていた。
まちは活気にあふれ、人の交流、文化の
交流が絶えまなく行われていた。

その歴史と文化を受け継ぐ今。そのに
ぎわいを現代によみがえらせようと、若
者たちが動き出した。キーワードはそれ
ぞれ違うが、その根底には伊万里のまち
を何とかしたいという思いがある。

伊万里まちづくり実行委員会

世界の伊万里

クラシックイン

黒澤映画で まちづくりを



1998年(平成10年)、『黒澤明記念館』の建設が伊万里市に決定されました。

この千載一遇のチャンスをと、何とか『まちづくり』

に生かせないかと『伊万里の会』(伊万里青年会議所、

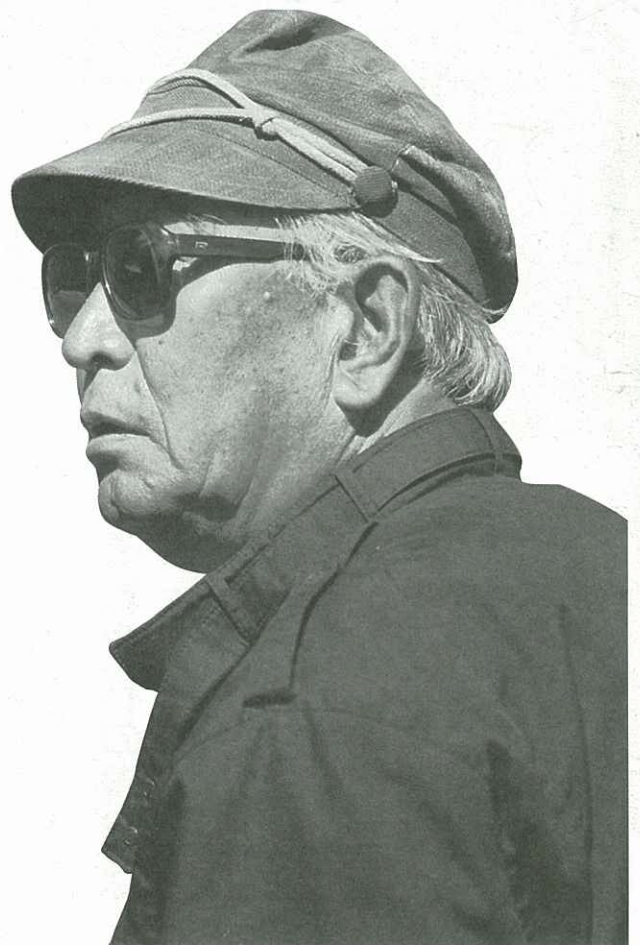
伊万里商工会議所青年部、伊万里市農協青年部、グローバル伊万里海外派遣研修団連絡会議)では考え、数かずつが集まりプロジェクトチームを発足させました。

『プロジェクトK』の誕生です。『K』は黒澤明の頭文字の『K』と、建設予定地の黒川町の頭文字の『K』をとったものです。『プロジェクトK』

では、何とか記念館の建設を盛り上げようと議論を重ね『黒澤映画祭』が企画されました。

でも映画祭を実行するには、まず予算の問題が立ちました。伊万里市の担当部署(総務部女性・文化政策室)と何度となく打ち合わせが持たれ、平成8年に行われた『世界焔の博覧会』の益金を活用した県の補助金が利用できることになりました。何とか財政的な目どがたつたのです。

しかし、今度は実行するスタッフの不足が問題となりました。個人の余暇活動が増大する昨今、この団体、サークルでも人材不足の問題を抱えているのが現状です。そんな中で人が集まるか。不安を抱えながらも一般公募が行われました。一人でも二人でもいい、という思いで行われたこの公募に、20数人が名乗りを挙げ、最初のスタッフと合わせると、40数人の若者が集まりました。名称も、まちづくりを表に出した『伊万里まちづくり実行委員会(プロジェクトK)』とすることにしました。



クトK)とすることにしました。

世界のイマリ 世界のクロサワ

300年前、まぎれもなく『伊万里』は世界の表舞台に立ち、その名に通用する伊万里という名に誇りをもち、先人たちが築いた、言わばひとつのドラマを『世界の黒澤』の名のもとに、演じてみようじゃないか。そうして名付けられた活動のコンセプトは、映画撮影の立ち上がり、まちづくり活動の開始を掛けて『世界の伊万里クラシックイン』。

映画祭など、やったこともない素人集団です。上映するフィルムが借りられない、招待するゲストが決まらないなど、四苦八苦しながらも、昨年1回目となる『伊万里黒澤映画祭』を開き、約3800人が黒澤映画をたんのうしました。

また、映画を見ることと同時に、まちに新たな映像文化を育てようという試みで、黒川小学校では、黒澤映画の代表作『七人の侍』の予告編づくりに子どもたちが挑戦。3年1組の児童30人が、自ら出演し、カメラ、照明などのスタッフもこなすという特別課外授業『ぼくらワクワク映画探検団』を行い、映画づくりの楽しさ、おもしろさを体験しました。

まちづくりシンポジウム

伊万里・黒澤映画祭と 伊万里びとの集い

記念館をまちづくりに どう生かす？

第2回伊万里・黒澤映画祭の開催を目前にした10月28日、市民センターを会場に、伊万里まちづくり実行委員会主催による『まちづくりシンポジウム』が開かれました。テーマは『黒澤明記念館建設計画と伊万里のまちづくり』です。

最初に、映画祭を通じたまちづくりの先輩格、佐賀県富士町の古湯映画祭から、実行委員の姉川久さんの

基調講演がありました。

姉川さんは「映画祭を始めたきっかけは、青年団が集まって話をする中で、何で地元如若者が定着しないのか。よその人に聞いても知らないような町には住みたくないんじゃないだろうか。そのためには、とにかく古湯のまちの名前を何とか売ろうと思ったことが発端でした。いろいろ苦労もしたし、失敗もしたけれど、やってみて非常に楽しかった。古湯でどうして17年間も映画祭が続いているかというと、スタッフ自身が映画祭を楽しめたことです。自分たちが楽しめなければ長続きしない。また、映画祭に携わっている人が、別の団体においても、まちづくりに活躍している。このように、いろいろな人が映画祭だけでなく、いろんな場所に出ていき、どんだん人の輪を広げていくことが大事」と語っていました。

それを受けてパネルディスカッションがありました。議論したのは、池永晃一さん（本町名店街）、久重路幸男さん（J A 伊万里市青年部長）、田原美栄さん（伊万里青年会議所会員）、堤茂樹さん（伊万里まちづくり実行委員

姉川久さん
（古湯映画祭
実行委員会委員）



会会長）の4人。

堤さんから、伊万里まちづくり実行委員会が、映画祭をどうしてやっているのかといった活動の背景が説明されたあと、それぞれの立場で『黒澤明記念館建設計画と伊万里のまちづくり』についての意見交換がなされました。

それぞれの現状は どうですか？

池永さん「商店街と黒澤明記念館を結びつけるのは、なかなかむずかしい。サテライトスタジオが商店街に出来て、多くのお客さんが来ているが、現在は素通り状態だ。とにかく伊万里に長く滞在してもらうよう、観光型の商業をどう発展させていくかが問題だ」
久重路さん「農業にとっては、来ていただく観光客にどれだけ伊万里に宿泊してもらえるかが鍵ですね」



特集 人が動き まちに一陣の風が吹く

田原さん「自分自身がまだ伊万里のことをよく知らない。今日初めてサテライトスタジオに行ってみました。なかなかりっぱな内容でした。まちづくりは、そのまちをよく知ることから始まるのではないのでしょうか」

堤さん「まちづくりというと、すぐ経済効果と言われがちです。これは大事なことです。しかし、それが先行しすぎる感じがします。昨年、第1回伊万里・黒澤映画祭をやりましたが、いろんな人との出会いが生まれました。人とのふれあい、人をつくることになり、これがひいてはまちづくりにつながるのだと思います。黒澤映画祭が、どういう効果をあげるかわかりませんが、まだ2年目です。10年ぐらい

まちづくりについての考え方は？

池永晃一さん
(本町名店街、
本町二丁目)



しないと、その成果は得られないのかも知れません」

商店街が 情報交換の場所に

田原さん「このごろ商店街のアーケードの中を歩くことが少なくなりました。歩いてみて何か暗いんですね。商店街がもっと明るく、にぎやかな場所になるといいですね」

池永さん「わたしは商店街は物を売るだけではないと思ってます。例えば病院の待合室のような、いろいろな情報交換の場所にならないといけないのではと常々考えています。そういう意識が商店街に広がって、商店街の中にポケットパークとして古伊万里公園を整備したところです。商店街の中で情報交換ができていけば、皆さんのいろいろな意見をとり

久重路幸男さん
(JA伊万里市青年
部長、山代町野々
頭)



田原美栄さん
(伊万里青年会議所
会員、立花台一丁
目)



入れながら商店街も変わっていくと思います。今は、商店街とサテライトスタジオが、相乗効果を産む何かができないか、いろいろな議論しているところです。

クロサワと伊万里、これから何かを産み出すことができればいいですね。定期的な骨とう市の開催などを今考えています」

久重路さん「地域のまつり何かでもそうなんです、やる気があるかどうか、仲間がたくさんいるかどうか、やはりいちばん大事なことは仲間づくりじゃないでしょうか」

個人が何よりも 優先する時代では？

堤さん「個人の趣味とか好みは何よりも優先する時代になりつつあります。今は何かまちづくりをやりたい

と思っても、そういう場が少ない気がします。何らかの仕掛けをやっていく必要があると思います」

田原さん「私は、伊万里青年会議所の一員です。何で青年会議所に入ったかという、自分で何ができるのか確かめてみたいと思ったからです。たくさんの人と知り合えて、逆に自分が見えてくる感じがします。今は活動が楽しいですよ」

堤さん「仕事以外で、いろんなグループ活動をやってみることが重要です。自分の生活が充実してきますし、心が豊かになります。人との出会いの中で自分自身が磨かれていき、これがひいてはまちづくりにつながっていくのだと思います。世界のクロスワワを通して、人と人とのすてきな出会いを演出していく。これが伊万里まちづくり実行委員会の目指すところであり、ここから何かが生まれてくる気がします」

堤茂樹さん
(伊万里まちづくり
実行委員会会長、
立花台二丁目)



第2回伊万里・黒澤映画祭

テーマは『作・創・造』

作・創・造とは？

第2回伊万里・黒澤映画祭が11月17日から19日を中心に開かれました。今回のテーマは「作・創・造」。これには次の五つの意味が込められています。

- ① 黒澤映画を通してまちづくりに参画、そして人、和をつくる
- ② あらゆる情報を双方向で受発信させ、伊万里ファンをつくる
- ③ 伊万里の魅力の再発見、そして新たなものをつくる
- ④ 映像文化を通して子どもたちの未来をつくる
- ⑤ 映画の上映、制作で伊万里の新しい文化をつくる



11月17日(一日目)
黒澤明監督の遺作となった
映画『雨あがる』上映(市内郵便局主催)



前夜祭(伊万里の会主催)

田中邦衛さん、宮崎美子さん、野上照代さん、村木与四郎さん、西村雄一郎さんらゲストの皆さんとついに、黒澤久雄とローガンズの演奏に酔いました。



宮崎美子さんトークショー(市内郵便局主催)

宮崎さんは「黒澤監督は、仕事以外ではやさしい人でした。熊本城での撮影の時、ついに座ってかき氷を食べたのが思い出として残っています」と黒澤監督との思い出を語っていました。

特集 人が動き まちに一陣の風が吹く



映画『どん底』上映

11月19日 (三日月)



映画de談義

黒澤作品のスタッフの村木与四郎さんと、野上照代さんによる黒澤監督の思い出話に、観客は熱心に聞き入っていました。



11月18日 (二日月)
映画『酔いどれ天使』上映



田中邦衛さん、野上照代さんトークショー
田中さんは「黒澤監督は、作品づくりとなると妥協を許さない人だった。でも私の黒澤作品初出演の撮影で、一発でオーケーをもらい、下宿まで口笛を吹いて帰ったのを今でも覚えています」と身ぶり、手ぶりを交えて話し、会場は大爆笑でした。



映画『生きる』上映



香川京子さんトークショー
香川さんは「黒澤監督は、演出の時は眉間にシワをよせてましたが、うまくいった時の笑顔は最高でした」と語っていました。



映画『椿三十郎』上映

「第2回伊万里・黒澤映画祭」のひとつとして、山代東小学校では映画の撮影が行われました。これは、同小学校の4年生を対象に映画づくりの楽しさ、おもしろさをわかってもらおうと、取り組まれている「ぼくらワクワク映画探検団」の中で行われたものです。講師の小林克人さんが、同校を訪れた際に、自分が心の中にずっと思い描いていた学校の姿をそこに見つけ、学校をテーマとした短編映画を撮ることにまりました。

この映画は、今の大人たち、老人たちにとって学校はどんなところなのかということテーマとしたものです。もちろんその学校は山代東小

ぼくらワクワク映画探検団



撮影機材に実際乗ったり、触れたりする子どもたち

その間4年生の子どもたちは、撮影風景を見学したり、撮影機材に乗ったり、また自分たちが出演したりして、ほんとうの映画づくりを生で体験しました。

現在この子どもたちは、山代東小学校の記録映画を、自分たちで製作しようと、学校の総合学習の中で映画づくりを学んでいるところです。

この2日間の経験は、子どもたちにとって貴重な体験となったことでしょう。なお、小林さんたちが撮った映画と子どもたちが自ら撮った映画は、3月に同校で行われる「2分の1成人式」の時に上映される予定です。完成が待たれます。



子どもたちに映画づくりを指導している小林克人さん

伊万里お菓子まつり実行委員会

市民の夢を市民が実現！



突然出現したお菓子の家に、子どもたちは大喜び



- ↑最後に中嶋神社まで巡行されたお菓子で作った社殿
- ◀昔なつかしい寿賀台製作の実演
- ◀商品はいただき！ストラックアウトに挑戦する男の子



お手玉投げに挑戦する女の子。商品はゲットできたかな

ドリームズカム トゥルー

伊万里お菓子まつりが11月12日、市民会館で開かれました。

これは、(社)伊万里青年会議所が創立35周年事業で企画した『ドリームズカムトゥルー 伊万里夢工房アイデアコンテスト』に端を発します。みんなの夢を募集し、これを実現しようというもので、多くの応募者の中から大久保盛由さんのアイデア『伊万里お菓子まつり』がグランプリに選ばれました。

伊万里は、全国でも珍しいお菓子の神様がまつられている『中嶋神社』があります。また、森永製菓の創業者で、菓子王と呼ばれた森永太郎の生誕地でもあります。

この全国どこを探してもない素材を生かし『焼き物の里』『フルーツの里』として知られる伊万里を『お菓子の里伊万里』としても市内外にアピールしたいという内容でした。

(社)伊万里青年会議所は、これ自分たちで実行するのではなく、賛同する市民の手で実現しようと、市民ボランティアを募りました。あらゆる広報手段を使い、要所、要所へは自分たちがかけて募集を行った結果、約60人の有志が集まりました。そして、今年の5月に『伊万里お菓子まつり実行委員会』が結成されました。

実行委員会では、まず伊万里の歴史

「みんなの力はすごいとあらためて思いました。ゼロからのスタートでしたので、企画段階で時間がかかりました。このイベントを通して感じたことは、何でもやってみないとわからないということです。そのよさ、むずかしさ、あらゆるものです。自分もやってみようという人たちがどんどん出てくれば、まちは変わっていくと思います」



秋月優子さん
伊万里お菓子まつり
実行委員長（山内町）

「わたしの出身は静岡県伊東市なんです。妻の実家が伊万里で、伊万里に住むようになって9年になります。予想外に多くの皆さんに参加してもらって感謝しています。このイベントを通じて、実行委員会のみんなと知り合いになれたことが、いちばんの収穫ですね。何か伊万里市民の力というものを感しました」



このイベントのアイデアを出した大久保盛由さん（脇田町）

「今は、よくボランティアスタッフだけでやってきたという充実感でいっぱいです。伊万里にお菓子という素材があり、お菓子を通してまつりができることを、市民にわかしてもらえたのではないかなと思います。団体がいくつも集まってイベントをやるより、こういうボランティアだけでやる何か強さみたいなものを感じました」



小島清朗さん
（社）伊万里青年会議所
理事長（黒川町）

実行委員会のみんなが、あちこちに奔走し、ようやく予算の目どりがたち、事業は実行に移されました。この間、最初は見ず知らずの他人であつたみんなが、一枚岩の結束を見せ、いつのまにか60人の友だちの輪ができていました。アイデアを実行に移すことは、並み大抵の苦勞ではできません。この苦勞を分かち合ったみんなの輪。これがまちをつくっていくような気がします。



ドキドキのエンゼルタワーコンテスト

アレ？アレ！アレー！！



静かに見守るように立つ
森永太郎像（伊万里神社
境内）



伊万里神社境内にある
中嶋神社



シュークリームがタダで食べられると思うの？二人羽織り

とお菓子のかわり合い、これを学ぶことからスタートしました。何で伊万里がお菓子なんだ、という疑問についての共通理解を深めることが、まず重要と考えたからです。次は実際にイベントの内容を議論し合いました。何ぶん初めての試みです。これはどうだろうか。あれはどうかな。いろいろな意見を出し合い、内容が深まってきました。

中身が詰まってくると、どうしてもクリアしなければならぬ問題は予算です。これもやりたい。あれもしたい。でも予算がない。そこで出た結論は、みんなで趣旨を説明してまわって寄付金を募ろうということでした。これもただ寄付をくださいといったところで簡単に集まるわけがないのは分かっていました。そこで、協力してもらう商店の特典がついた、お買い物クーポンを一口500円で買ってもらう形で、資金を集めようということになりました。

実行委員会のみんなが、あちこちに奔走し、ようやく予算の目どりがたち、事業は実行に移されました。

この間、最初は見ず知らずの他人であつたみんなが、一枚岩の結束を見せ、いつのまにか60人の友だちの輪ができていました。

アイデアを実行に移すことは、並み大抵の苦勞ではできません。この苦勞を分かち合ったみんなの輪。これがまちをつくっていくような気がします。



会場となる伊万里湾大橋付近



ひびけ、輝け、伊万里の未来

21世紀の幕開けを

花火で祝おう!!

21世紀の足音が、すぐそこに聞こえてきます。皆さんは、新しい世紀の幕開けをどのようにしてお祝いしますか？。市は、新世紀記念事業として『ひびけ、輝け、伊万里の

未来』をテーマに、平成13年（西暦2001年）1月1日の午後7時から、2001発の花火を打ち上げ、伊万里の元気をアピールします。

会場は、山代町にある伊万里団地。先月末に、ついにその姿を現した。九州一と言われる『伊万里湾大橋』のためとです。

打ち上げられる花火の中には、伊万里では初となる『尺玉』（直径約30センチの大花火）や、大橋に沿って仕掛けられる延長300メートルの仕掛け花火『ナイアガラ』などが予定されています。

赤や黄色の美しい花火が、澄んだ冬の夜空を焦がし、新世紀の幕開けを飾ります。お友だちや家族を誘って、ぜひ会場へお越しください。

◆期 日 平成13年1月1日

◆時 間

▽開会セレモニー

午後7時～

▽花火の打ち上げ

午後7時5分～

◆会 場 伊万里団地内（山代町）伊万里湾大橋付近

◆問合先 市商工観光課

（☎2111内線354）

ちよつと混むから

列車でおいでよ

松浦鉄道は、花火大会の開催にあわせて、臨時の『花火列車』（伊万里駅～鳴石駅）を運行します。会場は、混雑が予想されますので、どうぞご利用ください。

◆問合先 松浦鉄道伊万里駅

（☎23551）

伊万里ふるさと読本 - 第7集 地名編 -

あなたが住んでいる
地名の由来を知っていますか？



ふるさと伊万里を学ぶうえで楽しく手軽に使える『伊万里ふるさと読本』シリーズに、このたび新たに、第7章（地名編）『伊万里のちめい』が加わりました。

市内各地の地名の特色や由来をわかりやすく説明。記述や表記をなるべくやさしく、親しみやすいものになっています。

自分の住む地区の地名が、どのようにしてついたのか。ぜひ一度調べてみてはいかがでしょう。

▼価 格 300円

（B5版、88頁、モノクロ）

▼販売しているところ

市民図書館、各町公民館、生涯学習センター、市教育委員会生涯学習課

▼問合先 市教育委員会生涯学習課（☎2111内線453）

勲五等
瑞宝章



高峯 博雄さん (86歳)
東山代町長浜

昭和27年、私立長浜保育園を開設し、同時に園長に就任。その後、伊万里市保育会会長や佐賀県保育協議会副会長を歴任され、幼児童の健全育成および児童福祉の向上に貢献されました。

高峯さんは「叙勲を受けるなんて、思いもよらないこと

で感謝しています。40年近く園長を務め、その間にはいろいろとありましたが、周りの人たちに支えられました」と喜びを語っていました。



藤巻 哲應さん (84歳)
南波多町大曲

昭和14年、波多津村立波多津小学校に赴任以来、黒川中学校校長、杵西教育事務所所長、大坪小学校校長、伊万里中学校校長などを歴任され、伊万里市教育の振興に尽力されました。

藤巻さんは「今回の叙勲では、新聞報道などを見たかつての恩師が、高齢にもかかわらず電話をくれたり、地区の人がお祝いの言葉をかけたりしてくれたのが、何よりもうれしかったです」と話していました。



山口 哲二さん (72歳)
立花町渚

昭和35年以来、保護司を務められ、地区保護司会の会長

をはじめ、佐賀県保護司会連合会理事などを歴任。保護司間の取りまとめなどを積極的に行うとともに、県下の更正保護事業の推進に尽力されました。

山口さんは「多くの若者の更正に力をかしてきましたが、家族の理解がいちばんです。親がきちんと指導できればいいんですよ」と家族愛の大切さを話していました。

勲六等
瑞宝章



吉永 眞申さん (67歳)
二里町吉野

昭和28年、消防団に入団以来、40余年の永きにわたり消防の職務に精励。その間、多くの災害に出勤し、多くの功績を残されました。

吉永さんは「たいへんありがたく思っています。長い間消防団員を務めました。二里分団長をしていた平成8年に、県の操法大会で優勝したのが、いちばんの思い出ですね」と思い出を話していました。

市教育委員会表彰

伊万里市教育の

振興と発展に寄与

11月6日、伊万里市教育委員会表彰式が行われました。

これは、学校教育や社会教育、スポーツなど、各分野にわたり、伊万里市教育の振興・発展に貢献した人に対して、市教育委員会が毎年表彰を行っているものです。

当日は、岩永憲一良教育委員長が、受賞者一人ひとりに

表彰状を手渡しして、その功績をたたえました。

受賞者を代表して、社会教育関係で受賞した野口榮一さんは「正直なところ、表彰されるのは夢にも思わず、身に余る光栄です。これからも、伊万里市の教育・文化・スポーツの発展のために精進していきたいと思えます」と、受賞の喜びを語っていました。

なお、受賞者は次のとおりです。(敬称略)

▽学校教育関係

金子禎輔(山代町)、大崎章正(新天町)、吉富伸克(二里町)、井手武昭(波多津町)、藤井 汎(二里町)

▽社会教育、スポーツほか

野口榮一(二里町)、長谷川コトノ(波多津町)、金子恵子(東山代町)、梶山胡蝶(立花町)、山崎綾子(山代町)、黒田阿紗子(脇田町)、灰崎興太(黒川町)、川原麻子(大坪町)



5

なん 楠ちゃんレポート



『お菓子祭り』で司会をする、楠ちゃん

伊万里市が交流している中華人民共和国の大連市から、公務研修生として、姜楠さんが来ています。そこで、4月号から隔月で、楠さんに大連のこゝとや伊万里での活動を「楠ちゃんレポート」として報告してもらっています。今回はその第5号。中国のお祭りについて話してもらいます。それでは楠ちゃん、よろしくお願ひします。

皆さん、こんにちは！最近ではだんだん寒くなりましてね。でも、大連と比べたらまだまだですよ。伊万里の冬はマイナスになることは珍しいと聞いていますが、大連は冬になったら、平均気温はマイナス10度ぐらいで、去年の一番寒い日は、マイナス20度になりました。外に出るのとはとても辛いです。でも部屋の中はスチーム暖房（温湯と蒸気暖房設備）が入っていますので、とても暖かいです。伊万里の冬より大連のほうが過ごしやすいと思います。伊万里の秋祭りトントン

ンはとてにぎやかでした。私も市民総踊りに参加しました。「おくんち」の雰囲気を感じられ、いい経験になりました。たぶん日本の秋祭りには、正月よりにぎやかだと思います。今回のレポートは、中国の伝統的なお祭りをいくつか紹介しましょう。たとえば、旧暦5月5日の端午節（日本の子どもの日）では、各家庭は粽（ちま子）を食べます。中秋節では、家族で月餅（げっぺい）を食べます。そして、端午節の日は、両親が子どもたちのために五色の糸を用意して、当日の朝、両親は早めに起きて、五つの色の糸で作った輪をブレスレットや首飾りのように子どもたちの首や両足首、両手首に飾ります。もちろん、子どもはまだ眠っていて夢の中です。子どものころ、私はいつも友達とどうして五色糸を比べたものですか。もし自分の糸がきれいだと言われたら、とてもうれしかったです。もし変だと言われたら、とても腹を立て、その友だちとケンカをしたこともありました。いま思えば、そのころの私は、とても心が狭いですね。

春節はとてにぎわいます

中国でいちばんにぎやかな祭りは、やっぱり春節（旧暦のお正月）です。旧暦の正月1日から15日まで、ずっとお祭りのにぎやかです。春節前の一週間は家族ごとに食事の材料を買いそろえたり、春聯（赤い紙に対句を書いたもので、春節を祝うもの）、提灯、爆竹などの準備をしたりしてとても忙しいです。それによって町の中もとてもにぎやかです。いろんな飾りがあちらこちらに立てられます。そして、市をあげて行われるイベントも毎年楽しみにしています。

食事については、除夕夜（大みそか）の夜12時に必ず



美しい灯ろうが街にあふれます

餃子を食べます。それから、元宵節（旧暦の15日）には必ず元宵というごま餡入りの団子を食べます。そして、その日は街中にいろんなたくさん形の灯ろうが飾られていて、とてもきれいです。中国春節の楽しさは、言葉だけじゃ伝えられません。だから皆さんもぜひチャンスをつくって、春節のころ一度大連まで遊びに来て、実際に体験してください。私もこの9か月の間に日本でいろいろなお祭りを体験しました。

お菓子まつり

参加しました

11月12日のお菓子まつりは、皆さん楽しんでいただけましたか。私も実行委員会のメンバーとして参加しました。いろんなことを全部ゼロから始めました。本当にたいへんでした。準備期間中、実行委員会の皆さんが一生懸命頑張っている様子を見て、私も頑張らなきゃと思いました。

今回の活動は、私にとって最初で最後というのにはちょっと寂しい言い方ですが、伊万里での研修生活のもう一つのいい体験であり、いい思い出になったと思います。

初期鍋島の磁器片が出土

藩窯以前に

初期鍋島が

つくられていた!!

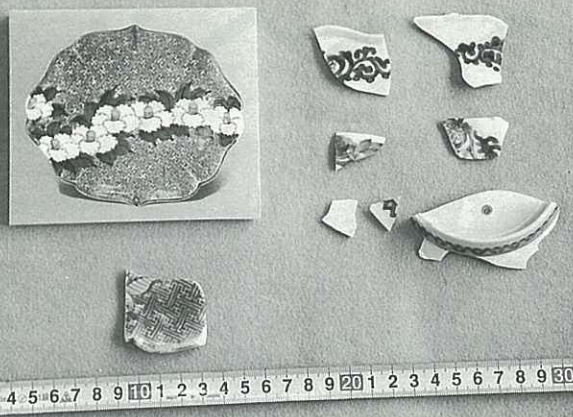
市教育委員会は、大川内山の日峯社下窯跡で、1650年代後半から1670年代にかけて使用された登り窯跡と、初期鍋島を含む磁器片を発掘したと発表しました。

今年9月中旬から実施されていた今回の調査では、窯跡の焼成室部分と、物原（失敗した製品をすてたところ）跡を5か所ほど試掘。その結果、同窯跡は、全長が50㍎、55㍎の規模を有し、14㍎16の焼成室を持つていたことが判明しました。また、物原跡からは、コンテナ約15箱分にも

のぼる磁器片などが出土しました。

この磁器片の中には、初期鍋島の名品『色絵椿花繫文変形小皿』の絵付け前の磁器片など初期鍋島様式の8点のほか、高級磁器や日常で使用された雑器などがありました。

このことから、大川内山で鍋島が焼かれ始めた時期が、従来考えられていたものより、20数年ほどさかのぼることが明らかになりました。



色絵をつける前の『色絵椿花繫文変形小皿』片（写真左下）を含む、出土品の一部



発掘調査がされた日峯社下窯跡

今後は、出土品と文献資料などと照らし合わせるなど詳しい調査を行い、いつごろから鍋島藩とかかわりを持つようになったのかなどを明らかにする予定です。

出土品は伝産会館で展示しています



『鍋島藩窯秋まつり』の期間中も展示され、多くの人を訪れました

なお、今回の出土品は、12月10日（日）まで、大川内山にある伊万里・有田焼伝産業会館で『発掘調査速報展』として展示されています。

郷土の文化財

伊万里市の歴史（補足）

南北朝時代と松浦党

伊万里市の中世

南北朝時代（1336年～1391年）の九州は、後醍醐天皇の皇子、懐良親王や肥後（現在の熊本県）の菊池武光を主力とする南朝方と、九州探題の一族範氏（道猷）や大宰府の少式頼尚などの北朝方との戦いで幕を開けます。

松浦党の大部分は北朝方でしたが、北波多波多氏は南朝方として行動することが多く、平戸の松浦氏は康永2年（1343年）までは南朝方につきました。

北朝方は松浦党の武力を重視し、多くの戦いに投入しました。

たとえば、暦応元年（1338年）の石垣山合戦で、松浦党は北朝方の先鋒となり、254人の死傷者を出しています。

相次ぐ戦いで、上松浦では有力家の佐志氏や相知氏



戦に向かう松浦党（想像図）

は勢力を弱め、波多氏が盟主になりました。下松浦でも松浦氏が勢力を強めたと思われまます。

正平14年（1359年）、菊池勢が少式勢を敗り、正平16年に懐良親王が大宰府に征西府を置き九州を制圧します。そこで、応安4年（1371年）、將軍足利義満は、今川貞世（了俊）を九州探題に派遣します。北朝方の九州奪回作戦の始まりです。

（つづく）

みんなの 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や
話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 23-2111・内線207)



👉セーのヨイショ!ヨイショ!(11月5日)

『やってみゅーだ2000in大川町』が大川運動広場で開かれました。恒例になった綱引き大会には、県内外、遠くは山口県からも参加。男子、女子、男女混合、子ども部門に合わせて59チームが熱戦を展開しました。中には凝ったコスチュームのチームも登場し、笑いを誘う場面も。綱引きのあとは、屋外で地元の牛肉を使ったバーベキューで交流会が開かれ、会場は遅くまで多くの人でにぎわいました。



👉園児たちの笑顔がすてきでした(11月3日)

『ふれあい交流 いまり童謡まつり2000』が市民会館を会場に開かれました。この日は、市内の保育園の年長児と老人クラブの会員が、それぞれ練習した童謡や、楽器の演奏を披露。集まった保護者たちなど多くの観客は盛んに拍手を送っていました。



👉どんな火災も大丈夫!(11月5日)

秋の火災予防運動期間に合わせ、(医)山口病院で伊万里市消防署・消防団合同消防訓練がありました。消防署からは、はしご車、化学車など6台38人、消防団からは大坪分団の積載車6台143人、山口病院からは自衛消防隊10人が参加し、本番さながらの訓練でした。

👉感じたことを美しいことばで話す(11月3日)

『美しいことばと豊かな心を育てる少年の集い』と題して『第34回子ども話し方大会』が黒川公民館でありました。この日は、各地区の子ども会を代表して小学生16人、中学生13人が、いろいろな体験で自らが感じたことを発表しました。





文化とは心を耕すこと（11月5日）

伊万里市文化祭が市民センターを中心にありました。今回で39回目を迎えるこの文化祭には39団体、約2000人が参加。市民センターで行われた合同芸能発表会では、日ごろの練習の成果を発揮しようと、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。



大川内山の秋深し！（11月1日～5日）

恒例になった大川内山の秋の窯元市が11月1日から5日までありました。期間中は、県内外から多くの買物客が訪れ、駐車場へ入る道路は車の列。お目当ての品を少しでも安く買い求めようと、買物客は熱心に品定めをしていました。

健康と福祉について考えよう（11月12日）

ふれあい健康福祉まつりが市民センターで開かれました。これは、市民の健康づくりの増進と福祉への理解を深めるため、毎年行っているものです。この日は、福祉団体によるバザーや、気功、エアロビダンスなど多彩な催しがあり、会場は多くの人でにぎわいました。



伊万里の激動の20世紀を語る（11月4日）

『伊万里の100年』と題した講演が、生涯学習センターでありました。これは、市郷土研究会と市歴史民族資料館が行ったもので、戦争に明け暮れた20世紀前半、また産業の大変革が起った20世紀後半のようすが講師の井手和夫さんから詳しく語られていました。



音楽がみんなの心をひとつにする

市内の小学校、中学校の音楽会が11月4日、11月15日、それぞれ市民会館で開催されました。

出演した児童・生徒の視線は、先生が振る一本のタクトに集中。心をひとつにして、真剣な表情でコーラスや、合奏に取り組んでいました。

子どもの演じる姿を、ひとめ見ようと会場を訪れた保護者たちは、ハラハラ、ドキドキの表情でステージをみつめていましたが、子どもたちのほうは堂々たるもの。でもほんとうは緊張していたのか、自分たちの出番が終わるとホットした表情をみせていました。



が2連覇!



2連覇を達成した大川内町チーム

第32回市民体育祭が、10月29日、国見台陸上競技場で開かれました。

あいにくの曇り空でしたが、オープン参加の身障者競技のほか、リレー競技など31種目で争われ、各町の代表が元気いっぱい競技しました。

結果は、終始リードを保った大川内町が昨年に引き続き総合優勝を勝ち取り、2連覇を達成しました。

なお、主な成績は次のとおりです。

- ▽総合優勝 大川内町
- 2位 山代町
- 3位 大坪町
- ▽躍進賞 黒川町



がんばれ
がんばれ!



- ▽応援賞 山代町
- ▽入場行進特別賞 大坪町
- ▽年齢別リレー 大川内町
- ▽消防団リレー 大川町
- ▽婦人リレー 大坪町
- ▽青年リレー 山代町
- ▽小学生リレー 大川内町
- ▽中学生リレー 大川内町
- ▽百足競走 松浦町
- ▽なわとび合戦 南波多町
- ▽つなひき 大川町



仲良くそろってゴール!

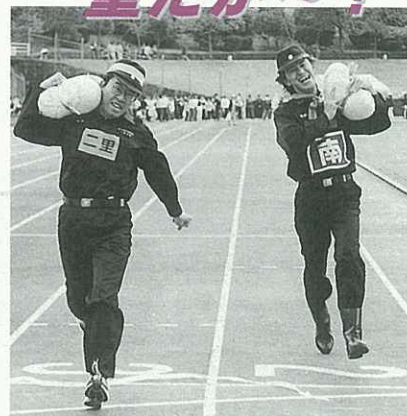
みんな伊万里が大好きです!



私が一番!



重たか〜!



第32回
市民体育祭

大川内町

走れ!



ゴール!

跳べ!

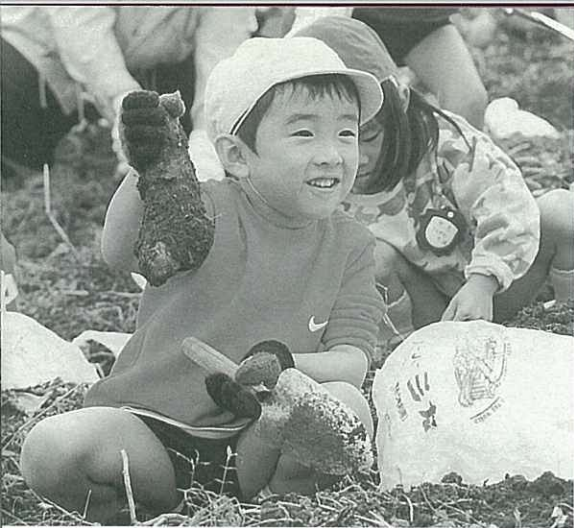


引け!



倒れる場合じゃないわよ





伊万里幼稚園では芋ほり

Old Person
and Child Page

ほがらか



ページ



ほら！おつきな

お芋がとれたよ

11月8日、大坪町六仙寺の芋畑で、伊万里幼稚園の芋ほりがありました。

これは、子どもたちが楽しく自然に親しむようと、開

園以来30数年続いている恒例行事です。

この日参加したのは、全園児247人。それぞれビニール袋とスコップを片手に、お友だちどうししっかり手をつないで、幼稚園から徒歩で畑に向かいました。

畑についたら、さっそく作業開始。思い思いに場所を決め、スコップで地面を掘ると大きなサツマイモが次々に出てきました。子どもたちは、収穫した抱えきれないくらい大きなお芋を、持ってきたビニール袋に詰めて、ご機嫌な笑顔を見せていました。

四季の詩

忘年の盃伏せて禁酒居士

船屋町

中島 不識洞

木枯らしに鴨脚樹の黄葉散りばひぬ
黄蝶の乱舞さながらにして

大川町戸石川

下平 文字子



横綱は デツカイゾー！



横綱の曙関ら東関部屋の一行13人が、10月30日、大川小学校を訪れ、子どもたちと交流を深めました。

この日は、大川保育園の園児や大川小学校の児童など、約300人がお出迎え。身長204cmの曙関が姿を見せると、テレビではない生の姿に、大きな歓声があがりました。質問コーナーでは子どもたちから、好きな食べ物や、相

したが、曙関が30kgのお米を片腕でヒョイと持ち上げると、大きなよめきが起こりました。

横綱をまじかに見た小林達法くん（6年生、川西）と岩永悠太くん（6年生、宿）は、「すごく大きいので、びっくりした。お米を簡単に持ったので、すごいパワーだなって思いました」と興奮したようすで話していました。

撲をとる前の気持ちなど質問され、横綱のユ一モアあふれる受け答えに、会場は大きな笑いに包まれていました。

交流会の最後には、大川町産のお米1俵と梨10kgが贈られました。

ぼくの学校 わたしの学校

松浦 小学校

沿革

- 所在地 伊万里市松浦町
桃川4430番地2
- 創立 明治7年
(1874年)
- 児童数 181人
- 校長 中村 範子



明治7年に山形小学校として創立。その後、高等迎陽小学校、松浦尋常小学校などに改称。昭和29年には、市制施行に伴い、現在の松浦小学校となる。スポーツが盛んで、水泳・陸上・相撲・マラソンなどにたくさんの子もたちが参加し、朝早くから放課後までがんばっています。

学校の特徴



紹介してくれた
峰松亜衣さん
(6年生、藤川内)

松浦小学校には、緑いっぱい、楽しみがいっぱい、自然公園があり、石だんの桜、大きな楠の木、そしてかえりと、四季を通じていろいろ



『秋桜ロード』での草取り

ろな姿を見せてくれます。また、ガケを登ったり、草スキーをしたり、クリやアケビなどにも恵まれ、夏は、カブト虫やクワガタを競って取ります。そんな自然の中で遊んでいるみんなは笑顔が絶えません。

線路ぎわの『秋桜ロード』や松浦バイパスに、コスモスをいっぱい育てました。種まき前は、ゴミ拾いや草とりなど、いやになるほどたいへんでしたが、きれいに花を咲かせ、通る人に喜んでもらえるので、とてもうれしいです。

生徒みんなが仲がよく、毎日の班通学では、あいさつも元氣よくします。

これからも、下級生や町のみんなが、松浦小学校のよさを受けついで、笑顔や花がいっぱい咲き続いてほしいと思います。

ほほえ美さん

やまだ あゆみ
山田亜由美さん(21歳)



- ★立花町南ヶ丘
- ★てんびん座・B型

亜由美さんは、七ツ島工業団地にある、北九給食センターにお勤め。同じ団地内にある名村造船所の社員向けの食事を作っているそうで、栄養士として今年の4月から勤務しています。

趣味は映画鑑賞と旅行。それと最近では、インターネットにもはまっています。今度お金をためて、近くでもいいので海外旅行に行ってみたいと思案中だとか。

「入社してまだ8か月ぐらいいなので、早く仕事に慣れるようにがんばりたいと思います」と笑顔で話してくれました。

わが家の アルバム

としま あやな
戸島礼奈ちゃん(3歳)



- ★克行・奈都子さんの長女
- ★船屋町

私はお外で遊ぶのが大好き。よく男勝りだと言われるの。だって、周りのお友達は、男の子ばかりなんです。この前なんか、キティちゃんを抱いて、クワガタに変身しちゃったわ。でも、もうすぐお姉ちゃんになるので、ちよつとは女らしくしなくちゃね。

お姉さんからひとこと
いいお姉さんになってください。これから幼稚園に入ったら、お友だちをいっぱいつかって、元気に遊んでね。

スポーツ

12月の町民スポーツ

- 3日(日)
●山代町親子駅伝大会
13時開会 山代町内
- 10日(日)
●「フルーツの里」ロードレース大会 9時半開会 伊万里ふるさと村周辺
●波多津町子ども会親子卓球大会・町内一周子ども駅伝大会
8時半開会 波多津体育館ほか
- 1月1日(月)
●大川内町新春走ろう会
8時開会 大川内町内
●大川町新春走ろう会歩こう会
8時開会 大川運動広場
●牧島町新春走ろう会歩こう会
8時開会 牧島町内

12月の市民スポーツ

- 3日(日)
●名村カップ 伊万里ジュニア駅伝 9時開会 国見台陸上競技場周辺
- 10日(日)
●市内混合ダブルスバドミントン大会
9時開会 国見台体育館
●福岡ダイエーホークスV2戦士野球教室
13時開会 国見台野球場
- 17日(日)
●伊万里市卓球選手権大会
9時開会 国見台体育館

市民スローピッチ選手権大会

東山代町が優勝を飾る

第5回市長杯市民スローピッチ選手権大会(ソフトボール)が、11月5日、国見台球技場で開かれました。

この大会は、スローピッチの普及と、健康づくりを通じて明るい町づくりを目指し開催されたものです。

各町の予選を勝ち抜いた町



優勝を飾った東山代町チーム

代表の8チームが、トーナメント方式で対戦。選手たちは、元気に白球を追いかけ、心地よい汗を流していました。

決勝戦は、準決勝で波多津町を8対4で下した東山代町チームと、同じく準決勝で二里町を10対3で下した伊万里町チームの対戦。試合は、1点を争う接戦となりましたが、6対5のスコアで東山代町チームが勝利を収め、優勝を飾りました。

上位の成績は、次のとおりです。

《大会成績》
優勝 東山代町
準優勝 伊万里町

おめでとうございます

体育振興に功績があった26人と4団体に

体育功労賞とスポーツ賞

市民体育祭の開会式で、市の体育振興に顕著な功績があった次の21人と4団体へ、平成12年度の体育功労賞とスポーツ賞が贈られました。

(順不同、敬称略)



《体育功労賞》

- ▼前山末雄(72歳) 木須町
- ▼松尾義明(71歳) 瀬戸町
- ▼立石千恵子(70歳) 松島町
- ▼力武英巨(62歳) 山代町

《スポーツ賞》

森 万利子(31歳)

南波多町

- ▼木寺秀樹(61歳) 伊万里町
- ▼岡崎正伸(58歳) 新天町
- ▼中島 實(故人) 松浦町
- ▼南 和夫(53歳) 立花町
- ▼井手憲一郎(53歳)

- ▼大川内町
- ▼大川内町
- ▼大川内町
- ▼灰崎興太(伊高2年) 黒川町

- ▼松尾達也(伊高1年) 立花町
- ▼仁戸田 彩(伊中2年) 立花町

- ▼川原麻子(有工2年) 大坪町
- ▼伊万里イエローズ(代表 吉武幾二郎)

- ◇第53回県民体育大会優勝者
- ▼原賀聰子(60歳) 東山代町
- ▼山口芳次(40歳) 脇田町
- ▼犬塚雅士(20歳) 大坪町
- ▼岩藤一人(41歳) 山代町
- ▼山崎秀人(32歳) 二里町
- ▼山口 剛(22歳) 山代町

- ▼陸上競技一般男子(代表 津上安次)
- ▼陸上競技女子400メートル

- ▼チーム(樋口順子、森万利子、前田知子、力武純子)
- ▼卓球一般男子チーム(代表 栗原崇)

(代表 栗原崇)

市小学校陸上運動大会

力いっぱい 走って跳んで!!

第32回伊万里市小学校陸上

運動大会が、10月22日、国見
台陸上競技場で開かれました。

参加したのは、市内の16小
学校から、4年生以上の児童
約600人。出場した選手た
ちは、力いっぱい競技して
いました。

各種目の上位の結果は、次
のとおりです。

《男子の部》

▼100メートル走▽6年生①熊谷

直紘(二里小)②中村裕輔

(立花小)③堺聡匡(東山代

小)▽5年生①前山亮(伊万

里小)、三島直記(二里小)

③田淵健太(大川内小)、綾

城裕介(東山代小)、光武良

(大坪小)▽4年生①津上遼

(牧島小)、田村卓也(立花小)、

平山晃大(大川小)▼60メートル

ハードル▽6年生①梅村浩仁

(南波多小)②副島慶多(大

川内小)③恒松裕樹(東山代

小)▽5年生①岩野洋平(黒

川小)②川尻修平(黒川小)、

平山雄大(大川小)▼4×1

00リレー▽6年生①立花

小②二里小③南波多小▽5年

生①伊万里小②二里小③大川

内小▽4年生①大川小②大川

内小③伊万里小▼持久走▽6

年生①岡本篤史(立花小)②

松尾洋佑(大坪小)③池田健

虎(黒川小)▽5年生①田中



翔(伊万里小)②田淵健太

(大川内小)③前田憲吾(大

川小)▼走幅跳び▽6年生①

吉竹淳樹(立花小)②梅村竜

徳(南波多小)③堺聡匡(東

山代小)▽5年生①三島直記

(二里小)②光武良(大坪小)

③山崎慎史(山代東小)▼走

高跳び▽6年生①山口龍也

(二里小)②田中伸吾(波多

津東小)、恒松裕樹(東山代

小)▽5年生①綾城裕介(東

山代小)②平山誠(大川小)

③浦田惣一郎(松浦小)▼ソ

フトボール投げ▽6年生①松

尾洋幸(南波多小)②山口恭

平(伊万里小)③小林達法

(大川小)▽5年生①原将大

(東山代小)②古竹祥太(黒

川小)③中島純貴(大坪小)

▼100メートル走▽6年生①原里

衣(大川内小)、溝上絵美

▼女子の部

▼100メートル走▽6年生①原里

(松浦小)③嶋村依香(伊万
里小)▽5年生①金子明(大
川内小)②松尾恵里(松浦小)
③山口優香(東山代小)▽4
年生①山口由貴(伊万里小)、
津上綾香(牧島小)③福田雅
(二里小)▼60メートルハードル▽
6年生①丸田美咲(山代東
小)、松尾広美(大坪小)③
朝長絵里子(伊万里小)▽5
年生①金子明(大川内小)②
松尾彩(波多津東小)、小林
美穂(伊万里小)▼4×100
メートルリレー▽6年生①伊万里
小②東山代小③立花小▽5年
生①東山代小②二里小③牧島
小▽4年生①松浦小②大川内
小③二里小▼持久走▽6年生
①野崎馨矢(伊万里小)②山
田絵理(山代東小)③田淵千
香子(大川内小)▽5年生①

松尾理乃(牧島小)②前田祥
子(東山代小)③吉田智春
(二里小)▼走幅跳び▽6年
生①鶴田美幸(大川小)②山
口智世(大坪小)③土井彩美
(伊万里小)▽5年生①松尾
恵里(松浦小)②西沙織(牧
島小)③森野里沙(波多津東
小)▼走高跳び▽6年生①溝
上絵美(松浦小)②原里衣
(大川内小)③金ヶ江久美子
(東山代小)▽5年生①山口
歩美(大川内小)②松尾侑香
(伊万里小)③池田千穂(大
坪小)▼ソフトボール投げ▽
6年生①山口梓(立花小)②
落合季沙(大川小)③納富智
美(牧島小)▽5年生①井手
恵利奈(二里小)②岩本果菜
(立花小)③笠原和(伊万里
小)

市民グラウンド

ゴルフ大会

第3回市民グラウンドゴルフ
大会が、11月12日、55チー
ム、約400人が参加して、
国見台陸上競技場と同球技場
で開かれました。

試合の上位の結果は、次の
とおりです。

《Aパート》

▼団体の部 ①大里A②栄町

老人クラブA③大川内体
協クラブ緑

▼個人の部 ①梅崎幸雄

(城山A)②野口マリ(大

川内体協緑)③広川和正

(長浜B)

《Bパート》

▼団体の部 ①脇野B②西

川会③円蔵寺B

▼個人の部 ①堤哲朗(脇

野B)②多久島邦夫(長

浜C)③森五男(脇野B)



くらしのチャンネル

お知らせ

芸術・文化活動に 支援金を助成します

佐賀県企業メセナ協議会は、芸術・文化活動を通して感性豊かな心をもつ青少年を育成し、地域の文化活動の活性化を促進するため、支援を行っています。

については、平成12年度の助成希望の団体を募集しますので、お申し込みください。

対象団体

芸術・文化活動や、地域における伝承芸能などに熱心に取り組んでいる高校生以下を中心とした団体

申込期限

平成13年1月31日(水)

- 申込方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、申し込んでください
- 支援金額 1団体につき10万円
- 支援団体数 5団体
- 申込・問合せ先
☎840・8570 佐賀県庁県民生活課内 佐賀県企業メセナ協議会事務局
(☎0952257340)

あべ弘士さんの講演

旭川市旭山動物園の飼育係として25年勤め、現在絵本作家として活躍中のあべ弘士さんの講演会を開きます。

- 日時 12月15日(金) 午後6時
- 会場 市民図書館
- 講師 あべ弘士
- 演題 『どうぶつ、どうぶつ、どうぶつ!!』

- 問合せ 市民図書館(☎234646)

もちや図書館のもちつき大会

おもちゃ図書館「おとぎのくに」は、恒例のもちつき大会を開催します。あんこもちやきな粉もち、ぜんざいなどが食べ放題。ご家族おそろい

でご参加ください。

- 日時 12月23日(土) 午前11時
- 会場 伊万里公民館駐車場
- 参加料 無料
- 《鏡もちをつくろう》
- ▽対象 先着20人
- ▽参加料 500円

※参加希望者は、おもち用の皿をご持参ください

問合せ先

岡本(☎235823)

ぼしゅう

ポリテクセンターの 能力開発セミナー

● 内容 Windows表計算(Excel) コース

- 開講日 平成13年1月10日、12日、15日、17日、19日、22日、24日、26日
- 定員 10人
- 受講料 2000円
- テキスト代(2冊) 約5000円

● 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、申し込んでください

- 会場 ポリテクセンター 伊万里

- 申込期限 12月15日(金)

「ふるさとのど自慢」が伊万里にやって来る!!



出場者

大募集!!

出場を希望する人は、官製ハガキ(HPでも可)に住所、氏名、年齢、電話番号、希望曲名(歌手名)、自己PRを記入して申込んでください。書類選考のうえ、通過者には、電話で連絡します。通過者は、予選会に出席してください。

- ▼応募期限 1月10日(水)
- 《予選会》
- ▼日時 1月17日(水) 午後6時
- ▼会場 市民センター
- ◆申込先 ☎812・8570 「TVQふるさとのど自慢」出場者募集係
(<http://www.tvq.co.jp>)

- ▼日時 平成13年1月24日(水) 午後6時半 開演
- ▼会場 市民センター
- ▼入場料 無料

TVQ「ふるさとのど自慢」の公開録画が、ぼっちゃん荒川さんを迎え、次のおり行われます。

《公開録画》

申込・問合せ先

ポリテクセンター伊万里開発援助課(☎280155)

参加してみませんか 料理教室

市母子寡婦福祉連合会は、母子世帯や父子世帯の親子を対象とした料理教室を開催します。

参加対象

母子世帯および父子世帯の

親子、会員の子・孫

- 定員 20組(先着順)
- 日時 1月13日(土) 午前9時半〜午後2時
- 会場 伊万里公民館
- 参加料 無料
- 持参するもの お米1カップ、エプロン(割烹着)など

- 申込期限 12月28日(木)
- 申込・問合せ先 外園(☎225774)

12月の行事

市民センター ☎ 23911

- 3日(日) 市民音楽祭
～ふるさと伊万里を歌う会～
13時 無料
- 9日(土) 人権・同和問題講演会
13時半 無料
- 10日(日) 伊万里子ども太鼓の会
10周年記念演奏会
15時 500円
- 13日(水) 劇団実の会「百鬼夜行外伝」
18時半 2,000円
- 22日(金) 伊万里市教育研究大会
13時半 無料

市民図書館 ☎ 234646

- 6日(水) 一映「モロッコ」
13時半 無料
- 7日(木) 一映「グランドホテル」
13時半 無料
- 13日(水) 一映「未完成交響曲」
13時半 無料
- 17日(日) 子映「フランダースの犬」
14時半 無料
- 20日(水) 一映「グランドホテル」
13時半 無料
- 24日(日) 一映「メッセージ・イン・ア・ボトル」
13時半 無料

◆特別企画

- 3日(日) 石垣りん(詩人) 講演会
演題「詩を書くこと 生きること」
13時半
 - 9日(土) クリスマスおはなし会
14時半
 - 15日(金) あべ弘士(絵本作家)
講演会 演題「どうぶつ どうぶつ ど〜ぶつ!」18時
- ※毎週土曜日 お話し会 14時半～
※都合により上映時間を変更することがあります

市民相談

会場：市民相談室 時間：10時～15時
無料・秘密厳守

- 法律 (木) 7.21
 - 交通事故 (火) 12.26
 - 行政 (水) 20
 - 人権 (火) 5.19
 - 身障者 (月) 25
 - 消費生活 (月) 4.11.18.25
 - 女性就業 (水) 6.13.20.27
 - 社会保険 (金) 1.8.15.22
- (会場：第1面接室)

- ボランティア相談…毎週月曜日
10時～15時 会場 市民ロビー
- 農家相談…毎週水曜日
9時～12時 会場 市民ロビー

19日(火)の人権相談は、特に、女性の人権(セクシャル・ハラスメントなど)についての相談に応じます

☎ 232111 (内線226)

しけん

県立窯業大学校



染付けの実習

- 出願書類
入学願書、調査書または成績証明書、健康診断書、写真、住民票抄本
- 入学検定料

- 学費 1万7000円
- 授業料(月額) 2万3200円
- 入学料
▽入学日の1年前から引き続き佐賀県に住所を有する人 8万2500円
▽そのほかの人 16万5000円
- 《専門課程》
●出願資格
高等学校を卒業した人および卒業見込みの人、または高等学校を卒業した人と同等以上の学力を有すると認められる人
- 試験日
平成13年1月29日、30日
- 試験会場
県立有田窯業大学校
- 定員 30人
- 出願期間
平成13年1月5日～12日
- 《研究科》
●出願資格
本校の専門課程を卒業した人および卒業見込みの人、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる人
- 試験日
平成13年1月9日、10日
- 試験会場
県立有田窯業大学校
- 定員 10人
- 出願期間
12月8日～15日
- 申込・問合先
☎ 844・0012 西松浦郡有田町中部乙2441の1 県立有田窯業大学校
(☎ 0955④3144)

チャイルドシートを無料で貸し出します



チャイルドシート
着用推進シンボルマーク
『カチャピョン』

年末・年始の帰省などで、チャイルドシートが必要になる家庭を対象に、チャイルドシートを無料で貸し出します。

数に限りがありますので、必要なのは、早めにお申し込みください。

◆対象年齢
満1歳～満4歳くらいまで

◆貸出期間
おおむね2週間以内

◆申込・問合先 市総務課

(☎ 232111 内線412)



故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらつしやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。

このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

「こんにちはは伊万里の親父です」

愛知県岡崎市 山浦 賢二さん



自宅で、家族いっしょに

その素晴らしい時期を過ごせたのも、地域の皆さん、恩師、友人と、多くの人の支えや、温かな『人の情』のおかげだと、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

故郷『伊万里』を離れて14年の歳月が過ぎ、現在一男一女にも恵まれて、わずかながら幸せな家庭を妻と育んでいます。

長男の健登は、8歳になるわんぱく坊主です。長女は、題名を見てもわかるとおり『伊万里』という名です。伊万里は、生まれた時、わずか1560名の小さな命でした。今では背も2番目に大きく、マラソンでは優勝するほど、とても元気な娘に成長しました。西へ1000名も遠く離れた故郷をしのび、凛とした柔らかな言葉の響きを持つ『伊万里』の名を娘に名付けました。

人からよく「伊万里って何？」と尋ねられますが、その時は「九州の大会の地名で、伊万里焼が有名な、食べ物は何でも美味しい、特にフルーツと伊万里牛は最高です。とてもいい所ですから是非行ってみて、いや行かんと損しますよ！」と宣伝がてら答えています。

今晩も、送ってもらった新鮮な伊万里の食材で調理された料理が食卓に並んでいます。口いっぱい、頬張った子どもたちが『パパ、今度はいつ伊万里に帰るのー』と言っています。愛知生まれの子どもたちの故郷も、私と同じ伊万里になっっているようです。

来る21世紀の幕開けである来年の元旦には、伊万里湾大橋の袂で花火があがるそうですね。

2001年の花火が彩る、鮮やかな夜空を思い浮かべながら、師走には帰り支度をとっている次第です。

遠く西の空を見上げながら、故郷の『伊万里』の益々の発展をお祈りしています。

最後に、地域の皆さん、先輩、恩師の方々にお礼と感謝の言葉を、そして何より素晴らしい友人たちにありがとう…。

今月の焼物

色絵 鶴文変形皿

糸切細工による変形皿の見込み中央に、水草の上で遊ぶ二羽の鶴を描いています。この紋様は、いわゆる盛期につくられた五寸の色絵鶴文皿と同じ構図ですが、本作品は、それらより早い時期の制作と考えられています。呉須だけで描かれたモノトーンの装飾ながら、描線は関連で力強く、濃みも巧みで、色絵の作品に劣らない豊かな表現力があり、卓越した技術をもつ職人の存在がうかがえます。

編集室から

先月から今月にかけては、トンテンポン、お菓子まつり、黒澤映画祭と大きなイベントが目白押し。おかげで取材は超過密スケジュール。頭はパニック状態のまま、悲鳴を上げながらの編集となった今月号。あえてむずかしいまじりの問題の特集してみました。黒澤映画祭、お菓子まつりの実行委員会の皆さん、たいへんお疲れさまでした。取材を通して皆さんのパワーを感じました。人と人がふれあい、それが三倍、四倍の力となっていく。これがまちをつくっていく力となっていくのかなと感じた次第です。来月はもう21世紀。みんなの力をさらにアップさせ、来年もすてきな出会いをみんなにプレゼントしてください。(V)

人のうごき

平成12年11月1日現在		
●人口	59,370人	(+39)
男女	28,142人	(+11)
男女	31,228人	(+28)
●世帯	18,993世帯	(+29)
	()	は前月比

伊万里 2000-12

■発行日/平成12年12月1日
 ■発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111
 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
 ■伊万里市のホームページ
<http://www.saganet.ne.jp/imari/>
 ■印刷/株式会社三光